

## 令和4年(2022年)10月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2022年10月 数量 (トン)	2022年10月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	北海道産・青森県産中心の入荷でした。天候がよくやや前進出荷となったため数量はやや増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	662	106	103%	114%
2		キャベツ	群馬(嬭恋)県産を中心に、千葉県産、茨城県産等の入荷でした。数量はやや減少しました。平均単価は前年並みで推移しました。	899	77	93%	101%
3		きゅうり	埼玉県・群馬県産を中心に福島県、山形県産等の入荷でした。気温の低下により数量はやや減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	324	369	92%	136%
4		ねぎ	北海道産、東北産中心の入荷でした。産地の長雨の影響により数量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	234	400	88%	144%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。数量はかなり減少し、平均単価は高く推移しました。	560	107	102%	87%
6	果実	ぶどう	山梨県産・長野県産中心の入荷でした。数量はかなり増加しました。小房傾向でパックの比重が高くなったこともあり、平均単価はやや安く推移しました。	91	1,527	134%	97%
7		りんご	生育が順調で、品種問わず大玉傾向となり数量はかなり増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	381	312	130%	91%
8		柿	りんごと同様に生育が順調で数量はかなり増加しました。平均単価は安く推移しました。	317	269	123%	88%

## 【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上